

(2) 広域的、戦略的な地域づくり、観光交流空間づくりのためのプロジェクト

1) サンテパークたはら周辺

【整備方針】

サンテパークたはら周辺を「農」「緑化」の交流地点として位置づけ、それぞれの優れた自然資源を活かしたまちづくり、拠点づくりを進める。

2) フラワーパーク跡地周辺

【整備方針】

「フラワーパーク跡地」から堀切海岸につづく「堀切ロードパーク」に、駐車機能を持ったポケットパークを点在させて海岸沿いのネットワークを強化することで、伊良湖岬周辺の利用の活性化へつながるような特徴的な施設展開を図る。

3) 伊良湖岬周辺

【整備方針】

地産地消（海の幸、畑の幸など）イベントが行える場を整備し、また、漁港の活用、散策ルートの充実など、市の主要な観光地として整備する。

4) 三河湾沿岸

【整備方針】

多様な海洋レクリエーションの場を目指し、水質維持のための砂浜の保全と、“白砂青松”的な海辺の環境の整備を進める。

サンテパークたはら周辺 魅力ある観光交流空間 「農と緑化の交流拠点」整備

《整備方針》
サンテパークたはら周辺を「農」「緑化」の交流拠点として位置づけ、それぞれの優れた自然資源を活かしたまちづくり、拠点づくりを進める。

- 公園、緑地の整備
- 道路沿いの緑化、修景
- 利用動線
- 農地
- 山林
- 魅力ある水辺空間形成の推進
- 水辺の向上
- 重点整備地域

環境保全型農業を通じた市民の交流拠点としての整備

- ・減農薬や有機推肥の活用による資源の循環、畜産糞尿のエネルギー利用などを通じた環境保全型農業を推進する拠点として整備する。

農の交流拠点としての滞在型市民農園（クラインガルテン）の検討

- ・余暇滞在施設と都市交流農園の整備を検討する。

背景となる山地の保全と連続した市民の森の形成

- ・「サンテパークたはら」から「大アラコ古窯跡」の背景となる山地につながる「市民の森」を形成する。

面的魅力の向上を図る整備地区内のネットワーク

- 1) 道路緑化の推進
 - ・「サンテパークたはら」を中心に「大アラコ古窯跡」「農業畜産実験農場」を緑豊かな遊歩道の整備により連携利用させることで、多様な体験を提供するエリアを創出する。
- 2) 池尻川の魅力ある水辺空間形成の推進
 - ・池尻川沿いに、緑地空間を積極的に確保し、並木整備と併せて、魅力ある水辺空間を形成する。

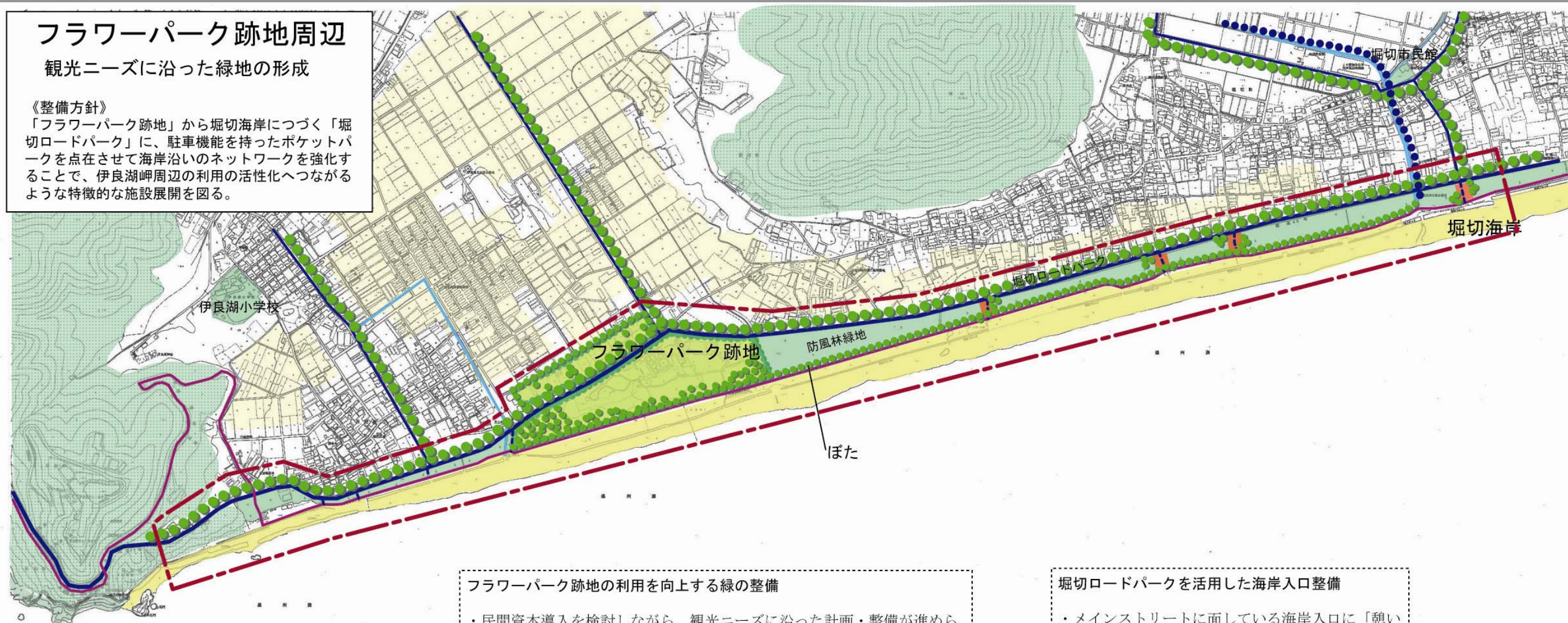


フラワーパーク跡地周辺

観光ニーズに沿った緑地の形成

《整備方針》

「フラワーパーク跡地」から堀切海岸につづく「堀切ロードパーク」に、駐車機能を持ったポケットパークを点在させて海岸沿いのネットワークを強化することで、伊良湖岬周辺の利用の活性化へつながるような特徴的な施設展開を図る。



フラワーパーク跡地の利用を向上する緑の整備

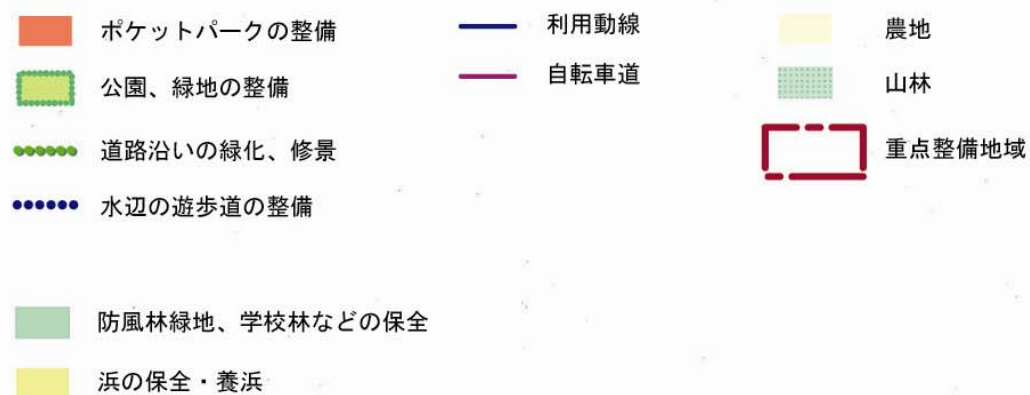
- ・民間資本導入を検討しながら、観光ニーズに沿った計画・整備が進められる予定のフラワーパーク跡地のアメニティ向上や防災機能を高めるために、海側に防風林緑地を整備する。
- ・駐車場整備については、豊かな緑のある空間を考慮して整備する。

堀切ロードパークを活用した海岸入口整備

- ・メインストリートに面している海岸入口に「憩いの場」としてのポケットパークを整備する。
- ・ポケットパークと防風林緑地の緑の連続性によるフラワーパーク跡地へのネットワークを図る。

防災機能（津波など）を有した防風林緑地の保全再生

- ・後背地の環境向上に向けた防風林緑地の保全再生整備を行う。



伊良湖岬周辺

市の主要な観光地として、観光資源、特産物などとふれあえる空間の形成

《整備方針》

地産地消（海の幸、畑の幸など）イベントが行える場を整備し、また漁港の活用、散策ルートの充実など、市の主要な観光地として整備する。

- 展望ポイントの整備
- 湾岸環境の改善
- 公園、緑地の整備
- 道路沿いの緑化、修景
- 原始林の保護
- 浜の保全・養浜
- 緑地、公園、社寺林、学校林などの保全
- 利用動線
- 自転車道
- トレイル（岬の文学散歩）
- 農地
- 山林
- 重点整備地域

海からの出入口に近接する緑豊かな民宿街の環境整備

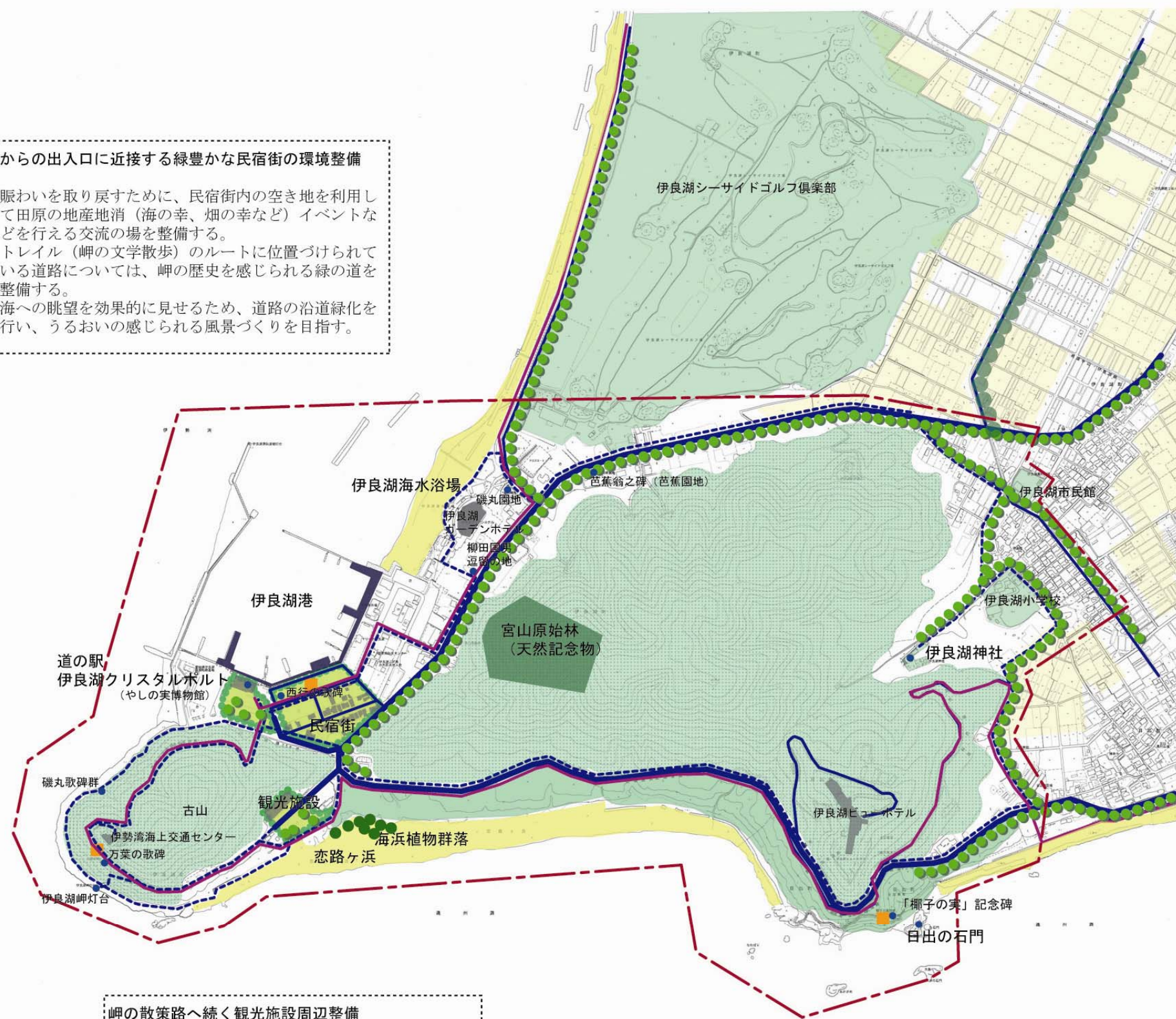
- ・賑わいを取り戻すために、民宿街内の空き地を利用して田原の地産地消（海の幸、畑の幸など）イベントなどを行える交流の場を整備する。
- ・トレイル（岬の文学散歩）のルートに位置づけられている道路については、岬の歴史を感じられる緑の道を整備する。
- ・海への眺望を効果的に見せるため、道路の沿道緑化を行い、うるおいの感じられる風景づくりを目指す。

田原の入り口空間となる道の駅の緑化整備

- ・田原市へのフェリーでの玄関口となるため、既存施設の外構の緑化整備を行い、入口としての魅力ある空間を創出する。
- ・隣接する駐車場を緑化整備する。

岬の散策路へ続く観光施設周辺整備

- ・観光施設周辺を緑豊かな空間へ整備する。
- ・駐車場がサシバの観察スポットとなっているため、既設の施設（便所、四阿）周辺を改善整備する。



三河湾沿岸

海洋レクリエーションの重点的展開

《整備方針》

多様な海洋レクリエーションの場を目指し、水質維持のための砂浜の保全と、“白砂青松”的な海辺の環境の整備を進める。

- 展望ポイントの整備
- 案内施設、海産物市場、漁業体験の場などの整備
- レクリエーション施設の整備
- 湾岸環境の改善
- 公園、緑地の整備
- 道路沿いの緑化、修景
- 水辺の遊歩道の整備

- 公園、緑地などの保全
- 浜の保全・養浜
- 自然景観の保全

- 船の動線
- 利用動線

- 農地
- 山林
- 重点整備地域

特徴ある姫島の自然景観の保全と利用整備

- ・蛇紋岩を主とする地質に由来する特色ある植生を、周辺域を代表する景観資源として保全する。
- ・国定公園内の園地として、自然に学び、自然環境の中での生活を体験できる象徴的な場として整備する。

“白砂青松”的景観の拠点となる

- 仁崎海岸の保全と活性化
- ・「日本の水浴場88選」に選ばれた環境を保全し、昔ながらの海水浴場、マツ林の中の海水浴場の雰囲気を形成する。
- ・仁崎海岸を中心に三河湾沿いに白砂青松の景観を形成する。マツ林のポケットパークを整備し、徐々に点から面へと広がっていく。

姫島への玄関口となる姫島漁港の整備

- ・緑豊かな修景空間を整備し、親しまれる漁港を目指す。マリンレジャーの拠点展開を図る。
- ・姫島漁港をこの地域の玄関口と考え、園地や地域案内施設を整備する。

海と山の自然環境を活用できる

- 江比間野外活動センターの改善整備
- ・浜からの動線を改善し、緑豊かな遊歩道を整備する。
- ・施設内に山への散策路入口を整備し、幅広い来客者を受け入れ施設利用の向上を図る。

海洋レクリエーション拠点となる

- 白谷海浜公園の改善整備
- ・誰でも利用しやすいスポーツや海水浴の拠点とする。
- ・一般市民が利用できる潮干狩り場所を整備する。

三河湾の眺望を有する宇津江漁港の改善整備

- ・釣り客などの利用が多いため、多目的広場、芝生広場、遊歩道、休憩所などを整備して安心して利用できる海岸とする。
- ・背後の江比間野外活動センターと連携することにより青少年の野外活動の場を確保する。

緑地をつなぐ街路樹の整備

- ・姫島漁港付近の緑地帯や、緑の拠点を連絡する街路樹を整備する。
- ・県道豊橋渥美線に沿って、防風機能をかねたマツ林を形成する。マツ林のポケットパークを徐々に樹林帯へと広がっていく。

自然を保全・活用した

レクリエーション拠点となる馬草港の整備

- ・河川及び、湾岸環境の改善を図り、自然を保全、活用したレクリエーション施設を整備する。
- ・マリーナなどのマリンスポーツの施設と海水浴場、釣り場、潮干狩り場などのレジャー施設をネットワーク化した複合的施設を整備する。
- ・三河湾の海の幸を楽しめる沖釣りの拠点としてフィッシャーマンズハウスなどの展開を検討する。
- ・子どもから高齢者まで、誰もが楽しめる施設を整備する。
- ・地域と融合し、地域の特性を活かした観光地とする。

